2021．4．29．

全日本学連　常任委員・代議員各位

全日本学生バドミントン連盟

会　長　　宮 崎 重 勝

委員長　　佐 藤 雄 太

令和３年度【限定】全日本学連主催大会組み合わせ基準

　今年度も全日本学連主催大会の運営に関してご協力をお願いいたします。

早速ですが、ご承知のように昨年度（令和２年度）は新型コロナ感染拡大の影響で全日本学連主催の全日本インカレ・全日本ミックス・東西インカレ等の諸大会全てが中止せざるを得ない状況になり、加えて一昨年度（令和元年度）は台風の影響で全日本インカレ団体戦が中止を余儀なくされました。

　したがいまして、上記諸大会に関する現行の組み合わせ基準（東西インカレ：2018．2．25．・全日本インカレ：2019．2．24．・全日本ミックス：2020．2．23．）は適用できず、新たに「令和３年度【限定】の組み合わせ基準」を作成し、諸大会の組み合わせ基準の方向性を統一して運営する必要があります。

　そこで、全日本学連競技部で作成しました「令和３年度限定組み合わせ基準（案）」を常任委員会及び総会にお諮りして承認を得ましたので、今年度に限って上記諸大会においては令和３年度限定基準「添付資料」の方向性に沿って大会を運営していただくことになります。

　以上、よろしくお願いいたします。

【添付資料】

※参考例として提示した資料は「東西インカレ」組み合わせを想定している。

※組み合わせ基準の基本的な「**方向性：実績から数集計 ⇒ 比率で案分 ⇒ 各学連へ割り振り ⇒ 各学連内ランキング ⇒ シード位置抽選**」は全日本インカレ・全日本ミックス・東西インカレに共通して適用できる。

※資料中の「大会」「組み合わせ基準（抜粋）」の項目は、開催（主管）する大会ごとに適用する「大会」や「基準①～⑥or⑧」が異なるので、開催（主管）する大会に合わせて適宜選択して運用する。

1. 過去のデータを集計する大会については、直近の同一の１大会（令和元年度）に加えて平成30年度まで遡って集計するかは大会を主管する学連の判断に一任する。

特に、全日本インカレ団体戦の場合は過去２年間の大会結果がないため、平成30年度の扱いについて、その判断根拠を明確にする必要がある。

1. 「地区学連内ランキング」は令和３年度各地区リーグ戦・選手権大会結果も参考に、各地区学連の種々の大会開催事情を勘案して「各地区学連」に一任する。
2. 日バからの要請による遠征などで東西インカレ欠場の場合の全日本インカレ出場権については、現行規定「全日本インカレ個人戦組み合わせ基準：４」の通りとする。
3. 新型コロナ感染などが要因で大会を棄権する場合や教育実習などの修学上必須である学校行事で大会を棄権する場合は、医療機関や大学の客観的な（公式）証明書を主管学連に提出し、棄権の是非は主管学連の会長が主催学連会長と協議して判断する（団体・個人）
4. 新型コロナ感染の影響で会場分散開催が困難であり大会規模を縮小せざるを得ない場合、その参加人数の制限についても考慮する必要がある。特に参加人数の多い東西インカレ（フリーエントリー）の場合、過去の大会結果比率はシード位置決めに反映させているので、過去の参加人数比率で案分して各地区学連に参加人数を割り振ることが必要である。

ただし、全日本インカレや全日本ミックスは大会規模から考えて縮小は必要ないと判断される。

以上

2021．4．29．

全日本学連競技部

部長　北見正伸